

新製品インフォメーション

2017年10月発売予定

上越・信越線で活躍した165系モントレレー色復活



写真: 山辺修一

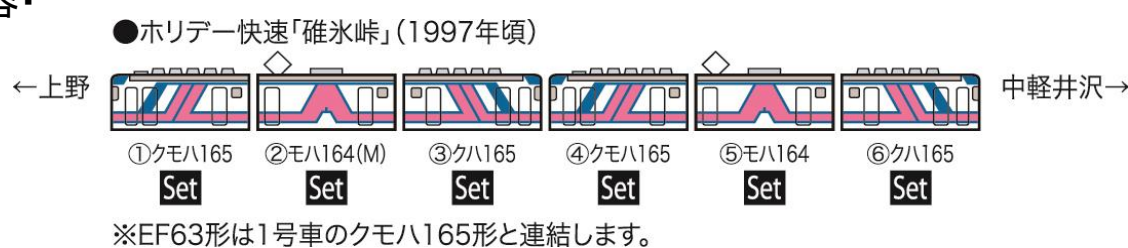
◆実車ガイド

- ・165系は1963年に登場した直流急行形電車です
- ・新前橋電車区に所属した車両は1988年頃より青色とピンク色の塗色に塗り替えられて活躍しました
- ・1993年頃より前面強化とヘッドライトの小型化が施されその後前面強化部分も塗装されました

◆製品化特徴

- ・ハイグレード(HG)仕様
- ・シールドビームで前面強化の姿を再現
- ・前面表示パーツは「快速」「臨時」付属
- ・印刷済みヘッドマーク付属
- ・タイフォン別パーツ付属
JRマーク印刷済み
- ・ヘッドライト・テールライトは電球色LEDにて点灯
- ・前面表示部はカラープリズムにより実感的に点灯
- ・ヘッド・テールライト・前面表示部は
ON-OFFスイッチ付
- ・Hゴムは黒色で再現
- ・車番転写シート付属
- ・フライホイール付動力採用
- ・新集電システム・黒色車輪採用
- ・TNカプラー(SP)標準装備

■セット内容・編成例



<別売りオプション>

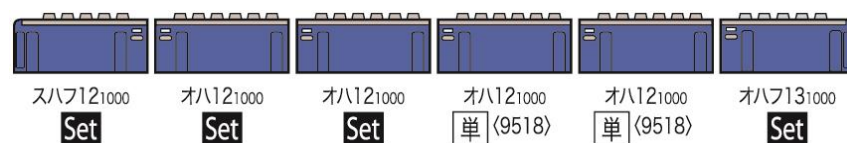
室内灯: <0755>LA+<0756>LBまたは<0733>LC(白色)

<92774> JR 165系電車(モントレレー・シールドビーム)セット (6両) 予価 ¥25,000(税抜)

山陰本線や播但線で運行された121000系普通列車を再現



■セット内容・編成例



※山陰本線、伯備線、播但線などでのけん引機は、DD511000形でした。また、オリジナルの12系白帯車との混成もありましたので、お好みにより(9504)スハフ1200形や(9502)スハフ121000形、(9505)オハ12形(前期型)や(9503)オハ12形を組み込んで、お楽しみください。

◆実車ガイド

- ・12-1000系は1984年頃より12系客車を普通列車用として改造され登場しました
- ・スハフ12・オハフ13形に乗務員ドアを設置して車体外観の白帯がなくなり青一色の姿で活躍しました
- ・中国・山陰地区ではDD51形やDE10形にけん引され通常の12系との混結編成も存在しました

◆製品化特徴

- ・スハフ12・オハフ13形に設置された乗務員ドアを新規再現
- ・青一色の車体を再現
- ・屋根上に補強リブの有る初期車を再現
- ・スハフ12・オハフ13形はテールライト点灯式
(ON-OFF可能)
- ・オハフ13はダミーカプラー・ジャンパ栓装着済み
- ・スハフ12の床下エンジンは灰色で再現
- ・Hゴム灰色で再現
- ・車番とJRマークは転写シート付属(セットのみ)
- ・新集電システム・黒色車輪採用

<別売りオプション>

室内灯: <0755>LAまたは<0733>LC(白色)

TNカプラー: <0374>密自連形

<92303> 国鉄 121000系客車セット (4両) 予価 ¥9,200(税抜)

<9518> 国鉄客車 オハ121000形 予価 ¥1,600(税抜)

TOMIX